

eGuarantee

IR通信

2020年4月1日～2021年3月31日

証券コード：8771

INNOVATION IN FINANCE

株主の皆様へ

〈19期連続増収増益達成〉 20期連続の増収増益へ



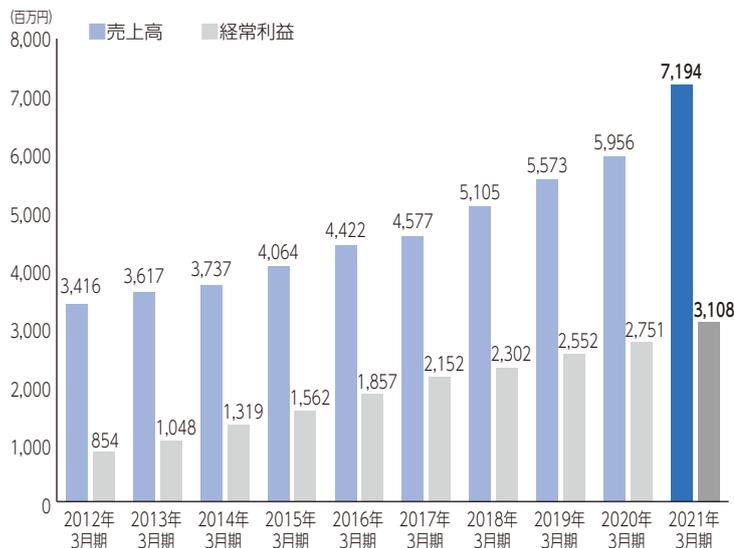
2021年6月 イー・ギャランティ株式会社
代表取締役社長 江藤公則

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2020年度は、新型コロナウイルス感染症の影響等による顧客ニーズの高まりに合わせた新商品を開発しタイムリーに提供するとともに、広告の実施やメディアからの取材依頼に積極的に応じるなど認知度向上に努めたことにより、保証サービスを活用する顧客の裾野が拡大しました。

その結果、売上高7,194百万円、経常利益3,108百万円、親会社株主に帰属する当期純利益2,004百万円となり、おかげさまで、19期連続の増収増益を更新しました。

2021年度には更なる信用リスクの引受け拡大により、20期連続の最高益更新を見込んでおります。企業間取引における経済インフラとしての役割を担うべく、役職員一同、さらに社業に邁進してまいりますので、今後とも皆様の一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

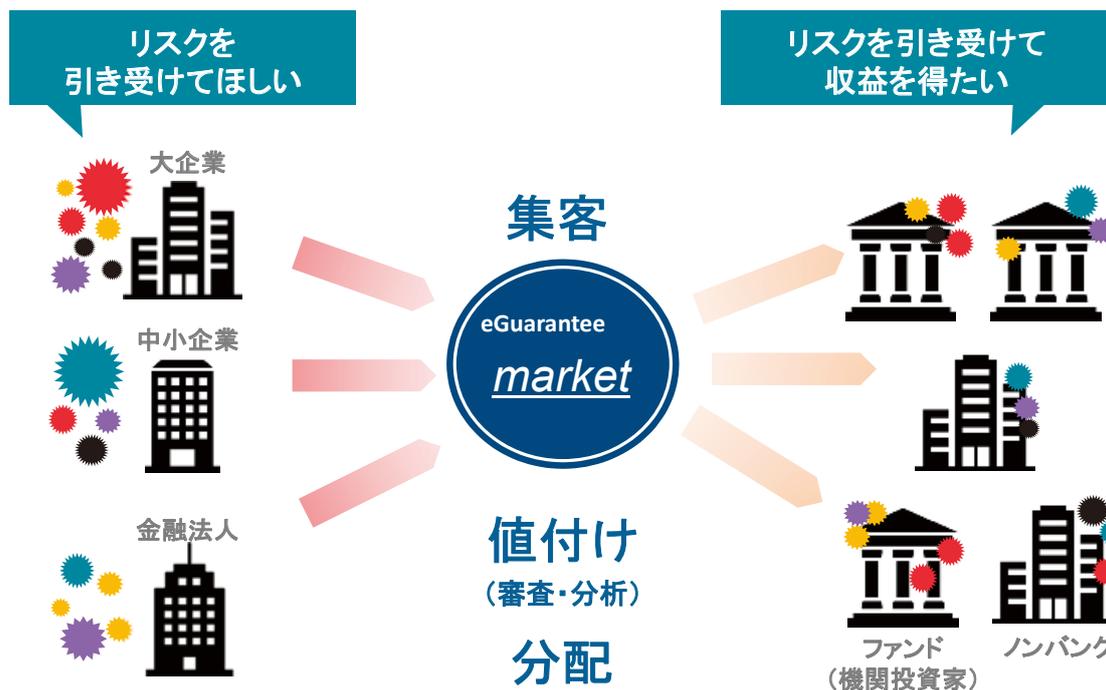


企業間取引で発生する様々な信用リスクを保証し、 ビジネス拡大に貢献するサービスを提供します。

当社は、売掛債権や請負債権、金融債権、返還請求権など企業間取引で発生する様々な信用リスクを「保証」という形で引受け、倒産等による債務不履行の際の保証を行うことで、企業間取引における信用リスクをヘッジするサービスを提供しております。

独自のリスク処理方法を構築し、 信用リスクのマーケットメーカーとしての役割を果たします。

引受けた信用リスクは、豊富な引受け実績を活かし、定性的な情報を含む当社独自の情報データベース等を活用して分析・審査し、金融機関やファンドに流動化を行います。流動化にあたっては、あたかも信用リスクを運用手法の一環として投資することができるよう、各機関が引受けやすい形に変換し、リスクポートフォリオを再組成します。

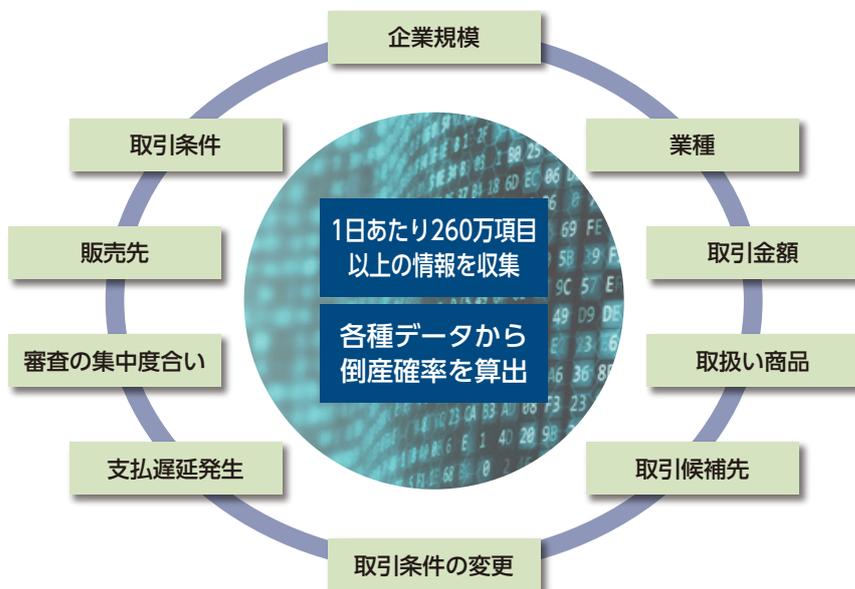


ビッグデータを活用した当社独自の審査モデルを持っています。

多数の企業を審査する中で日々蓄積される大量のデータを武器に、当社独自の審査で精緻なリスク判断を実施しています。

当社内に蓄積した個別信用情報への照会や、全国から集まる様々なうわさ、月間25,000社を超える企業の審査で得られる情報などあらゆる情報を、1日あたり260万項目以上収集しています。

これらの情報を統計化し、各企業の倒産確率を算出して審査に活用しています。



基本方針

- ・倒産件数が今後増加するという想定のもと、特定の業種については慎重なリスク判断を継続する。一方で20年度に比較して経済動向の不透明さが軽減され、新型コロナウイルス感染症の経済への影響がある程度予測できる状況となったため、業種に合わせたリスク受託方針を取る。
- ・企業間取引のデータ収集を強化することで将来のデータベースビジネスへの体制を整備しながら、営業体制を強化して顧客数の拡大を目指し、経済インフラとしての役割を担うべく企業活動における信用リスクに関するサービスの浸透を図る。

重点施策



1. 顧客層拡大のための販売体制強化

営業人員増加により販売体制を強化する。併せて教育体制についても整備し、早期に経営資源化できる体制を目指す。

大都市圏を始めとした新たな顧客紹介チャンネルとの提携を推進し、今までアプローチできていなかった顧客層へのサービス浸透を進めていく。

新たな提携を推進

証券会社
都市部の信用金庫
その他 各企業

現在約90ある提携先をさらに**拡大**
新たな顧客層へ**アプローチ**

21年3月時点より
約50%の営業人員増加を図る



2. 周辺分野の事業展開

- 2月からテスト導入を開始したオンラインでの小口保証申込を行えるサービスについて、正式にサービス提供を開始し、販売網を拡大して利用顧客数を増加させる。
- 想定顧客は中小企業を中心としており、WEBを活用した取引リスクの管理を導入させることで、将来取引情報を活用した新たなサービス展開の基盤を作る。
- オンラインや、既存の提携先以外の新規提携先を通じて販売を拡大することで、今までと異なる顧客層へのアプローチを行う。



minimal

小口債権保証サービス minimal (ミニマル)

拡大を続ける販売網

提携先地方銀行

北海道銀行	山梨中央銀行	鳥取銀行
青森銀行	東日本銀行	山陰合同銀行
北都銀行	神奈川銀行	広島銀行
荘内銀行	静岡銀行	山口銀行
山形銀行	大垣共立銀行	トマト銀行
岩手銀行	百五銀行	阿波銀行
七十七銀行	名古屋銀行	百十四銀行
東邦銀行	第四北越銀行	伊予銀行
きらやか銀行	八十二銀行	四国銀行
仙台銀行	北陸銀行	佐賀銀行
大東銀行	福井銀行	十八親和銀行
群馬銀行	長野銀行	肥後銀行
足利銀行	滋賀銀行	大分銀行
常陽銀行	京都銀行	宮崎銀行
武蔵野銀行	関西みらい銀行	琉球銀行
千葉銀行	池田泉州銀行	西日本シティ銀行
きらぼし銀行	南都銀行	

J A三井リース 昭和リース
ディーエフエルリース 東京センチュリー
芙蓉総合リース リコーリース

● その他金融機関

エムエスティ保険サービス
大和信用金庫 大阪信用金庫
岡崎信用金庫 オリックス
亀有信用金庫 クボタ総合保険サービス
さわやか信用金庫
三泉トラスト保険サービス
昭光通商保険サービス
城北信用金庫 栄鴨信用金庫
西武信用金庫 トータル保険サービス
日鉄保険サービス
日本製紙総合開発 リスクマネジメント
浜銀ファイナンス 日立保険サービス
平塚信用金庫

● 商社

双日インシュアランス
豊通インシュアランスマネジメント
阪和アルファビジネス
丸紅セーフネット
三井物産インシュアランス

地方銀行以外の提携先金融機関

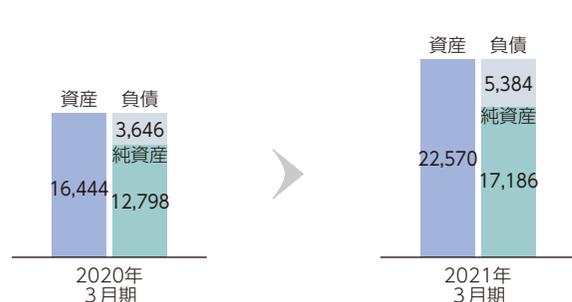
- 銀行
新生銀行 リそな銀行
- 証券
いちよし証券 SBI証券 岡三証券
- リース
エムジーリース 近畿総合リース



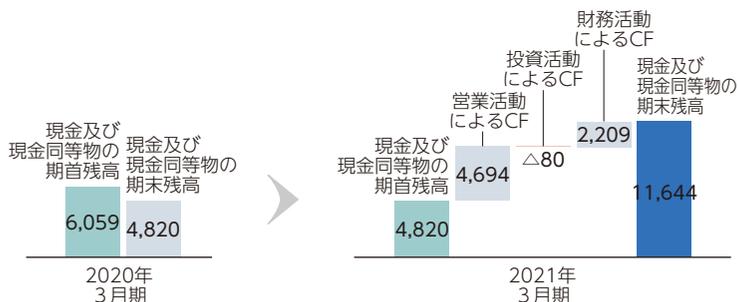
連結財務ハイライト

業績推移

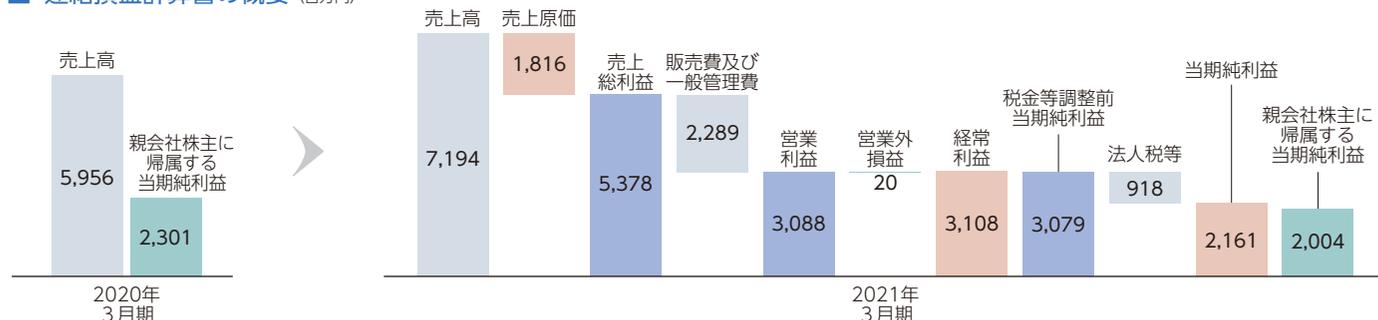
■ 連結貸借対照表の概要 (百万円)



■ 連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (百万円)

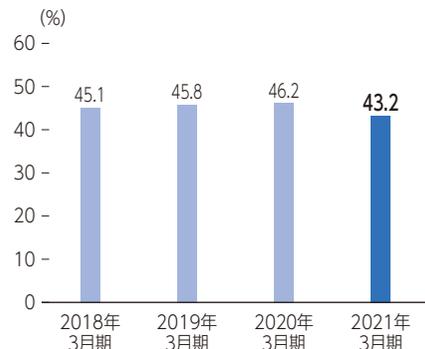


■ 連結損益計算書の概要 (百万円)

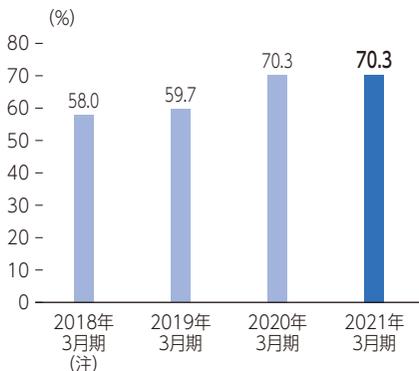


主要な経営指標

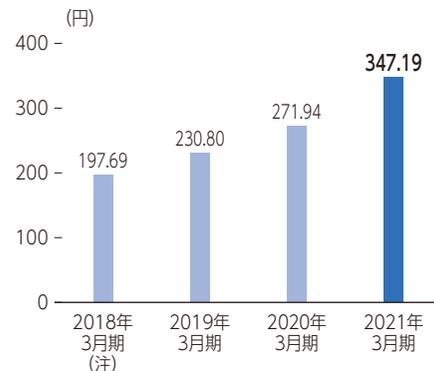
■ 売上高経常利益率



■ 自己資本比率



■ 1株当たり純資産



(注) 「従業員持株会支援信託ESOP」が保有する当社株式71百万円を自己株式として控除しております。
 ※2018年3月期の数値については、分割後の金額を遡及して記載しております。

配当金および配当性向の推移 (株式分割調整後)

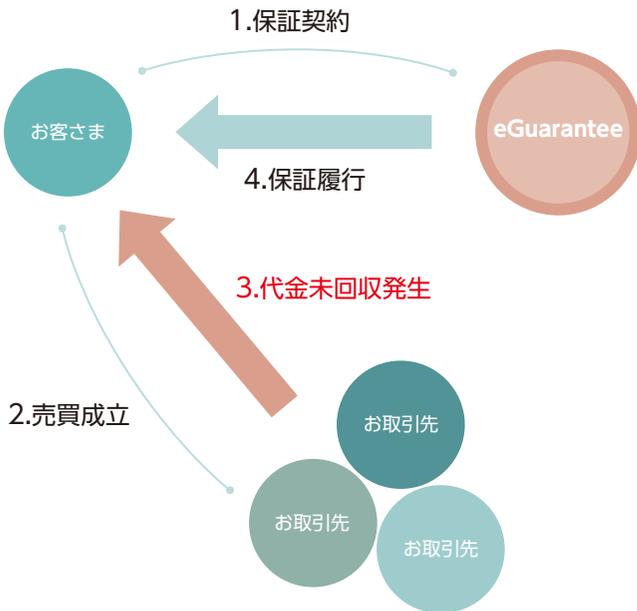


配当性向	31.8%	31.7%	31.6%	30.9%	32.3%	33.2%	25.9%	48.8%
------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

(注) 2018年3月期以前の配当については、分割後の金額を遡及して記載しております。

サービス

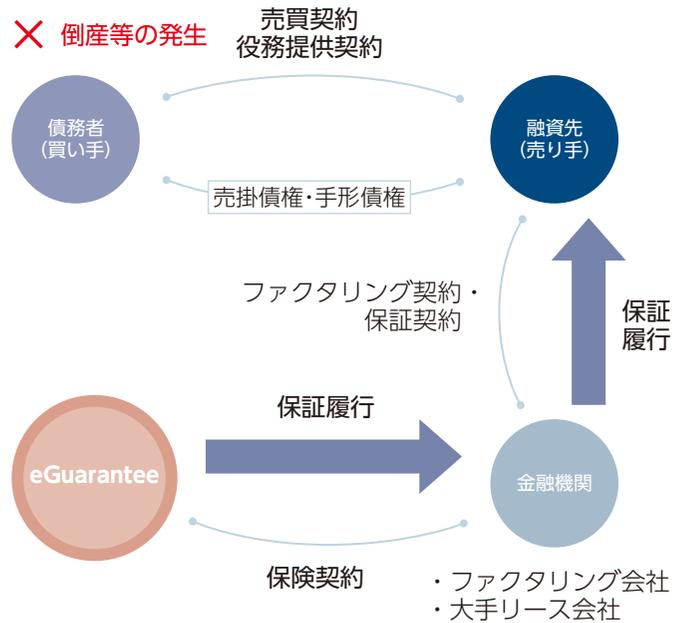
事業法人向けサービス（一例）



企業間取引において生じた各種債権の未回収リスクを保証します。取引先が倒産等の事由により、債務不履行を起した場合には、あらかじめ設定した支払限度額を上限に当社が保証金をお支払いします。

- 売掛債権保証サービス
- 請負債権保証サービス
- 共同購入における保証サービス
- 海外輸出債権保証サービス
- その他各種債権保証サービス

金融機関向けサービス（一例）



金融機関の様々なビジネスシーンにあわせて、保証スキームを用意しております。また、売上債権を保証したいという金融機関に対しても、多くの引受実績にもとづき低価格で再保証サービスをご提供しております。

- 売掛債権保証の再保証サービス
- 融資債権保証サービス
- 債権流動化保証サービス
- 立替払債権保証サービス

イー・ギャランティの強み

- ・高額なリスク引受
多数のファンドや金融機関等に分散した形でリスク移転をしているため、当社1社では引き受けられない高額のリスクを引き受けることができます。
- ・低い料率設定
膨大なデータに裏打ちされた審査力、業界トップの保証規模と十分なリスク分散により、低価格でサービスを提供することができます。
- ・柔軟な商品設計
リスク流動化先との契約条件は様々な種類があるので、対象とする債権や契約期間、オプションなど、顧客ニーズにあわせた柔軟な商品を設計することができます。

お客さまによって様々なシーンで活用頂いています。

【安定的な取引を可能にするための保証】

昔から取引している先に、調査会社での評判が下がってきた会社があった。ここに保証を掛けることで、これまでの関係を壊すことなく取引をすることができている。

【新規取引時における審査機能、販路拡大としての保証】

新規での取引の際には、必ずイー・ギャランティに信用度を聞くようにしている。保証という後ろ盾があることで、営業担当者が積極的に新規開拓を行ってくれるようになり、売上が拡大するようになった。

【社内与信管理コスト削減のための保証】

これまで債権額の大小に関わらず、すべての取引先を調査会社に調べてきたが、イー・ギャランティは取引先の保証だけでなく、モニタリングも引き受けてくれた。結果、与信管理のコストが削減でき、貸倒れリスクも大幅に削減された。

【社内与信管理機能の強化、売上拡大としての保証】

社内の与信限度額が厳しく営業担当者が積極的に売れない状況があったが、与信限度額を超過する取引だけを保証に掛けることができたので、社内規定との調和をとって売上を伸ばすことができています。

会社概要

会社概要 (2021年3月31日現在)

社名	イー・ギャランティ株式会社 (英文名: eGuarantee, Inc.)
設立	2000年9月8日
資本金	30億9,765万円
所在地	<本社> 東京都港区赤坂5-3-1 赤坂Bizタワー
<大阪支店>	大阪府大阪市中央区久太郎町4-1-3 大阪センタービル
<北海道支店>	北海道札幌市中央区北1条西10-1-15 ベストアメニティ札幌ビル
<名古屋支店>	愛知県名古屋市西区牛島町6-1 名古屋ルーセントタワー
<九州支店>	福岡県福岡市博多区博多駅前4-1-1 日本生命博多駅前第2ビル

役員 (2021年6月28日現在)

代表取締役社長	江藤 公則
常務取締役	唐津 秀夫
取締役	永井 譲次
取締役	邨 井 望
取締役	黒澤 秀雄
取締役	亀井 信重
取締役	澁谷 司郎
監査役	山内 稔彦
監査役	山岡 信一郎
監査役	笠 浩久

株式情報

株式の状況 (2021年3月31日現在)

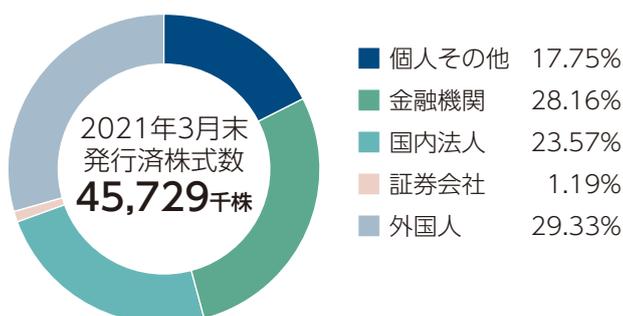
発行可能株式総数	62,720,000株
発行済株式の総数	45,729,800株 (自己株式 1,414株を含む。)
株主数	12,610名

大株主 (2021年3月31日現在)

株主名	所有株式数 株	持株比率 %
伊藤忠商事株式会社	6,336,800	13.8
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	4,050,500	8.8
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	3,125,900	6.8
江藤 公則	3,010,200	6.5
株式会社帝国データバンク	2,870,400	6.2
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	2,539,900	5.5
株式会社日本カストディ銀行 (信託口9)	1,914,600	4.1
株式会社エヌ・ティ・ティ・データ	1,440,000	3.1
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140051	1,339,700	2.9
BBH FOR MATTHEWS JAPAN FUND	1,301,200	2.8

(注) 持株比率は自己株式 (1,414株) を控除して計算しております。

株主別分布状況 (2021年3月31日現在)



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	
定時株主総会	毎年6月下旬	
基準日	定時株主総会・期末配当 中間配当	毎年3月31日 毎年9月30日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社	
連絡先	東京都府中市日鋼町1-1	
電話	0120-232-711 (通話料無料)	
郵送先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部	

- 住所変更等のお届出について
お取引口座のある証券会社あてにお願いいたします。
- 未受領の配当金支払請求について
当社の株主名簿管理人であります三菱UFJ信託銀行株式会社あてにお願いいたします。

HOME PAGE

イー・ギャランティのホームページでは、会社概要、事業案内、採用情報に加え、充実したIR情報を掲載しております。



<https://www.eguarantee.co.jp/>